

医師部門

受賞者： いしかわ ひでお 石川 秀雄 (88歳)
宗像医師会 医師



石川氏は久留米医科大学（現久留米大学医学部）卒業後、天然痘が集団発生していた福岡県宗像市鐘崎地区に開設された日赤岬診療所に派遣された。同地域はそれまで無医地区で、診療所の開設後も辺鄙な土地柄ゆえに派遣医師が長続きしなかったが、同氏は4年の長きにわたり地域医療に貢献した。しかし昭和39年に同診療所は閉鎖され、赴任中であつた氏は個人診療所として岬診療所を開設し、今日まで半世紀を超えて離島など鐘崎地区の地域医療に貢献してきた。

氏は、昭和61年に地域医療を担う医師の支援ならびに充実した二次医療を確保すべく中核病院である宗像医師会病院を開設し、翌年には開放型病院、また平成12年に地域医療支援病院として承認を受け、地域医療全体の質の向上に寄与している。また昭和56年に開設した宗像地区急患センターの管理者として平日の夜間診療や夜間小児診療の終夜業務を確立するなど、診療体制を充実させた。さらに、高齢化する地域の状況に対応し、平成6年に宗像医師会訪問看護ステーション、平成9年に宗像医師会介護老人保健施設を開設し、平成11年には宗像医師会ケアプランサービスを開設した。訪問看護ステーションは平成23年に第63回保健文化賞を受賞するなど、宗像地区は全国でも有数の在宅医療の充実した地域である。

また平成11年、全国的にも先駆けて、病後児保育所「宗像医師会病後児デイケアルームすくすくくらぶ」を設立した。

氏は生涯を通じて地域医療に貢献し、地域住民との信頼関係を築き上げている。同地域における氏の果たした功績は多大である。

推薦者： 上田 寛 宗像医師会 会長
松田 峻一良 公益社団法人 福岡県医師会 会長